

R D最終処分場対策について

滋賀県琵琶湖環境部最終処分場特別対策室

目次

- 対策委員会の報告
- 対策委員会報告をうけての県の検討結果
- 県が基本とする対策工の概要
- 今後のスケジュール

対策委員会の報告

対策委員会の報告(1)

- 平成18年12月から平成20年3月にかけて、15回の対策委員会と7回の専門部会を開催した。
- 平成20年4月9日に対策委員会委員長から知事に委員会報告(答申)が提出された。

対策委員会の報告(2)

【対策案の概要】

- 対策委員会ではA 1、A 2、B 1、B 2、C、D、Eの7つの案について審議された。

対策委員会の報告(3)

【対策委員会の推奨案】

- 対策委員会(18名)で複数の委員が推奨した案は、A2案(8名が推奨)とD案(7名が推奨)であった。
- もっとも推奨者の多かったA2案が「対策委員会が推奨すべき案」として報告された。

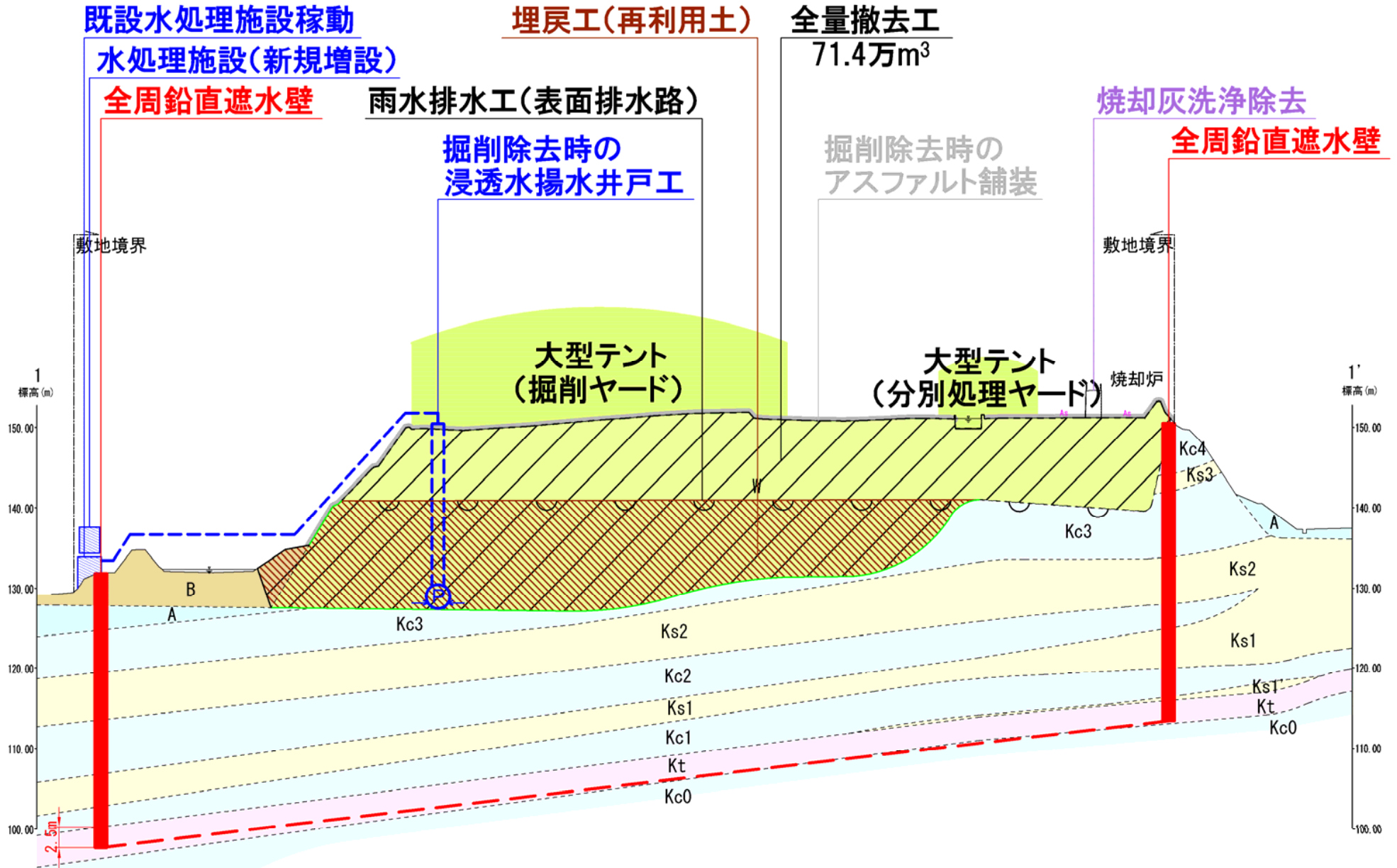
A 2案

【全量撤去 + 処理土再利用埋戻案】

工期 約13年

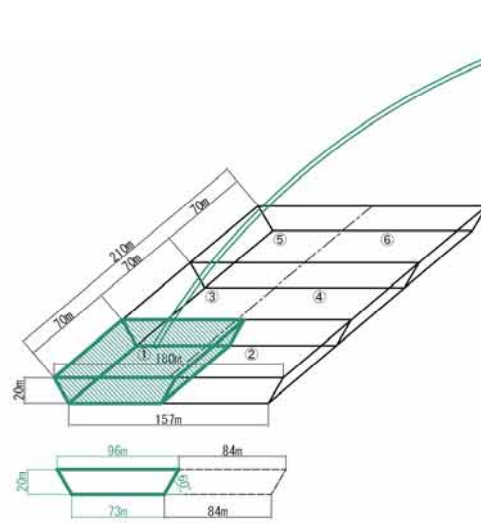
トータルコスト 約243億円

(インシャル236億円、ランニング7億円(30年))



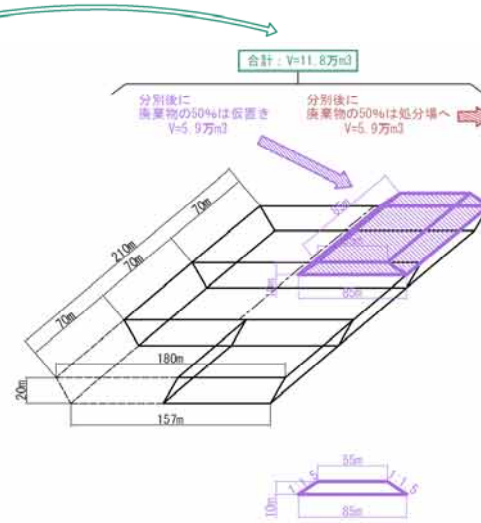
A-2案の掘削手順(掘削・埋め戻し並行施工)

(1) ①ブロックの掘削を実施。



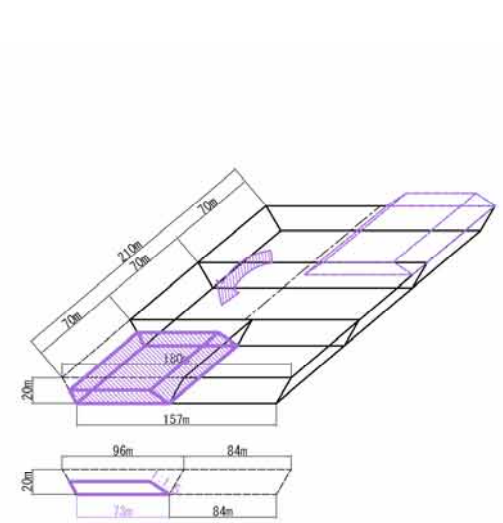
①ブロックの廃棄物量: $V=1/2 \times (96+73) \times 20 \times 70=11.8$ 万 m^3

(2) 掘削した廃棄物を、埋戻土砂としての再利用するものとに分別し、前者を仮置きする。

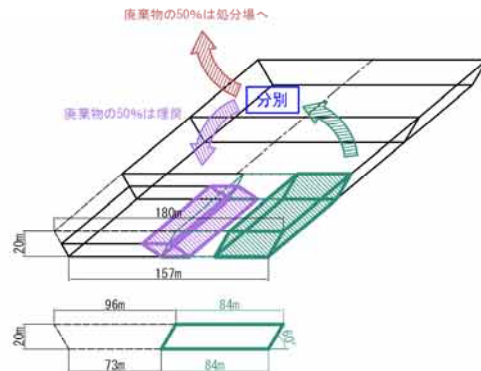


仮置き土砂量: $V=1/2 \times (95+85) \times 10 \times 85=5.9$ 万 m^3

(3) 仮置きした土砂を用いて、①ブロックの埋め戻しを所定の高さまで行う。

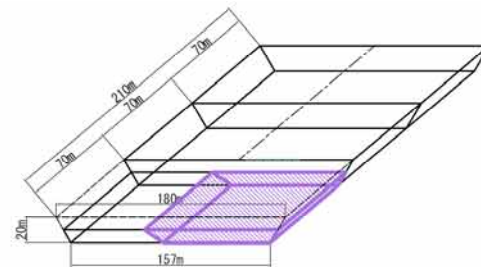


(4) ②ブロックの掘削を開始し、掘削した廃棄物を分別しつつ埋め戻しを行う。

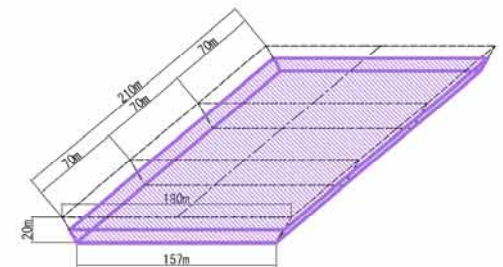


掘削土量: $V=84 \times 20 \times 70=11.8$ 万 m^3

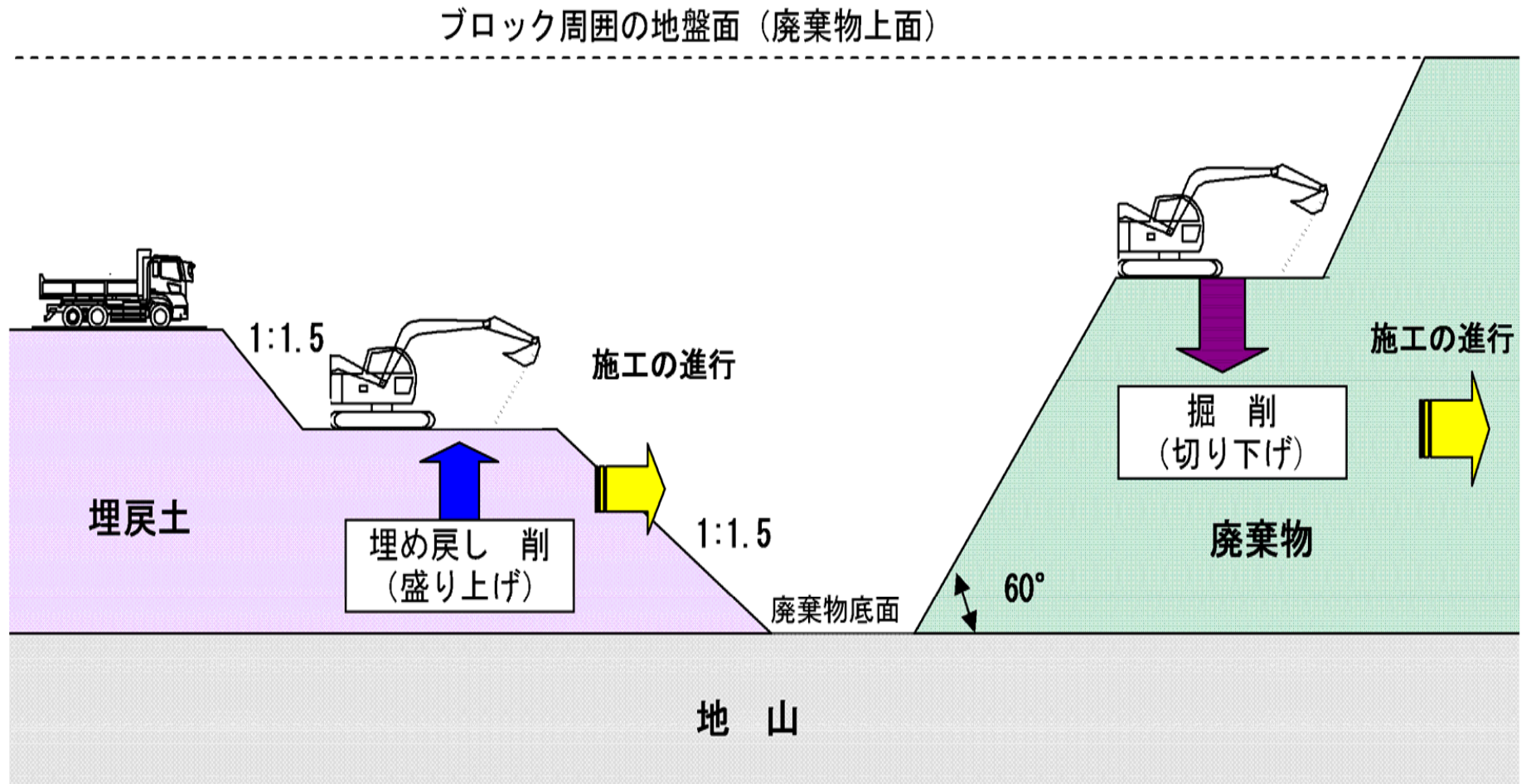
(5) ②ブロックの埋戻が完了。



(6) 以降は同様の手順で③～⑥ブロックを施工し、完成。



A-2案の掘削手順(掘削・埋め戻し並行施工)



→ 埋め戻し

埋め戻しは廃棄物の土砂を再利用

→ 掘削

掘削ヤードにテント設置が困難

B-1案

工期 約3年

トータルコスト 約45億円(インシャル32億円、ランニング13億円(30年))

既設水処理施設稼働 雨水排水工(表面排水路)

自然換気管設置

水処理施設(新規増設)

覆土

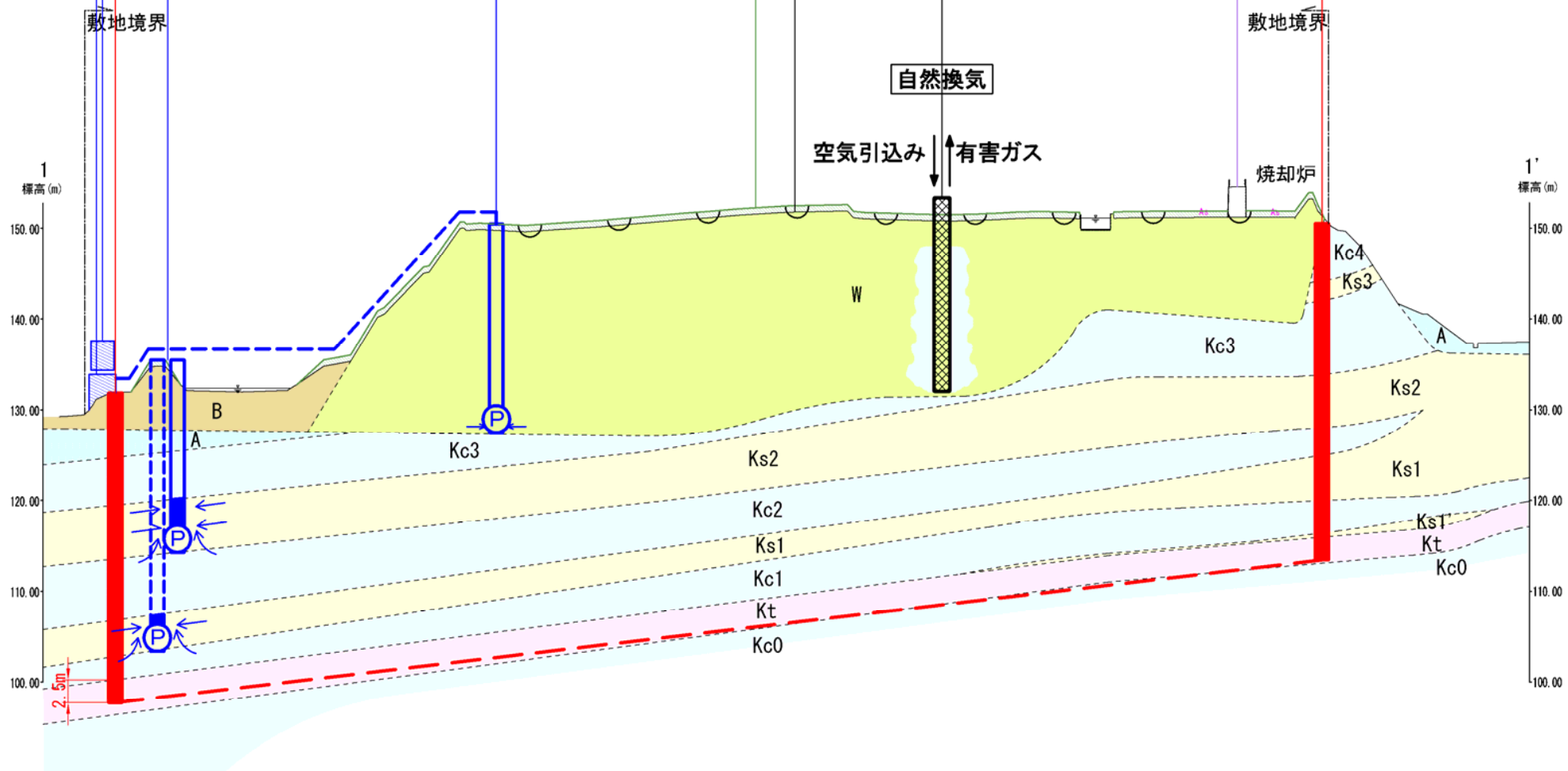
全周鉛直遮水壁

地下水揚水井戸工

浸透水揚水井戸工

焼却灰洗浄除去

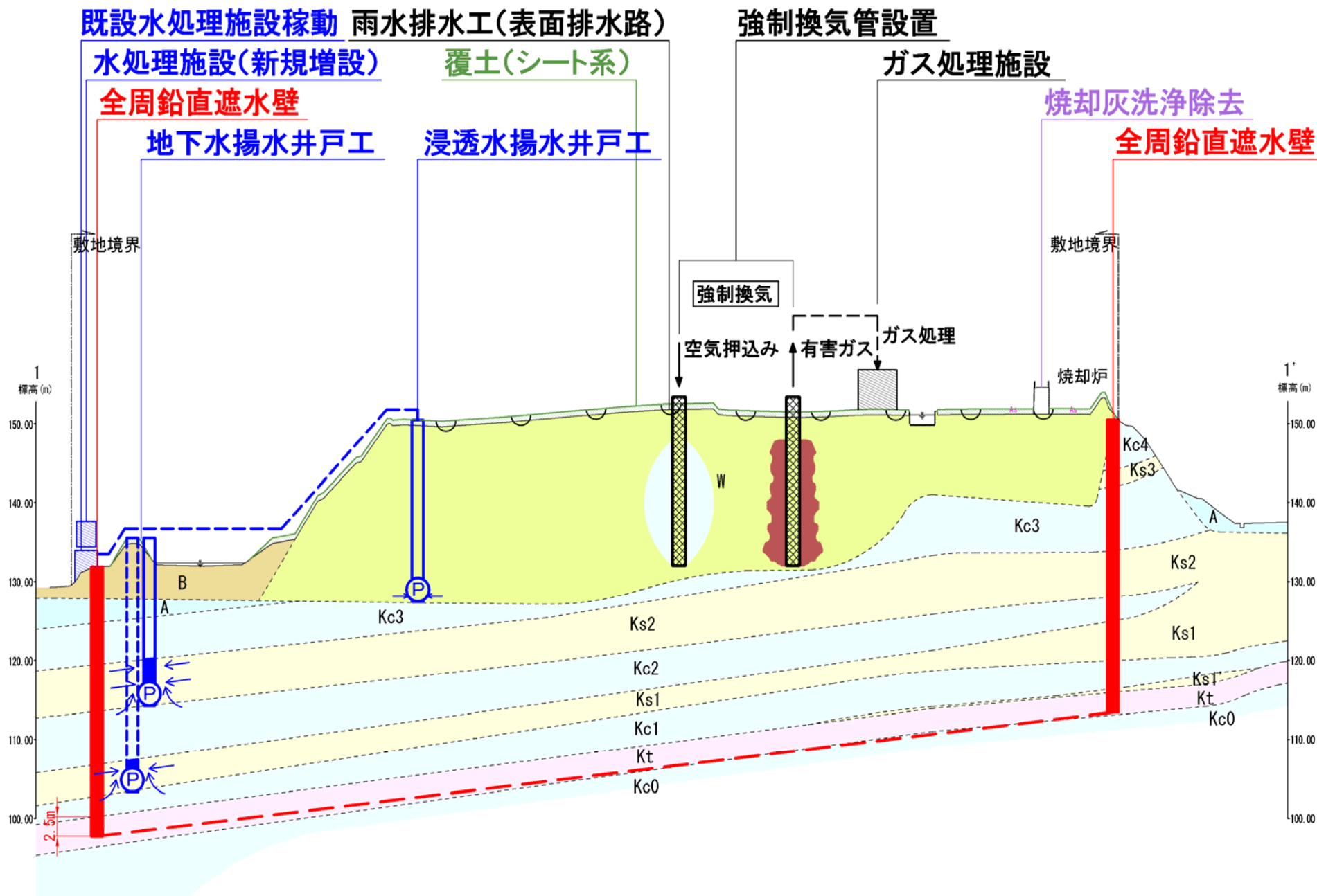
全周鉛直遮水壁



B-2案

工期 約3年

トータルコスト 約52億円(インシャル39億円、ランニング13億円(30年))



D 案

工期 約3年+

B-1案ベースの場合

トータルコスト 約45億円+

「+」は有害物掘削除去にかかる工期、コスト

①地下水汚染拡散対策

全周鉛直遮水壁(B-1,B-2案)

又は

バリア井戸(C案)

③浸透水対策

浸透水揚水井戸
(B-1,B-2,C案共通)

②廃棄物飛散・浸透水抑制

覆土(土質系)(B-1案)

又は

覆土(シート系)(B-2,C案)

有害物質の掘削除去

④有害ガス対策

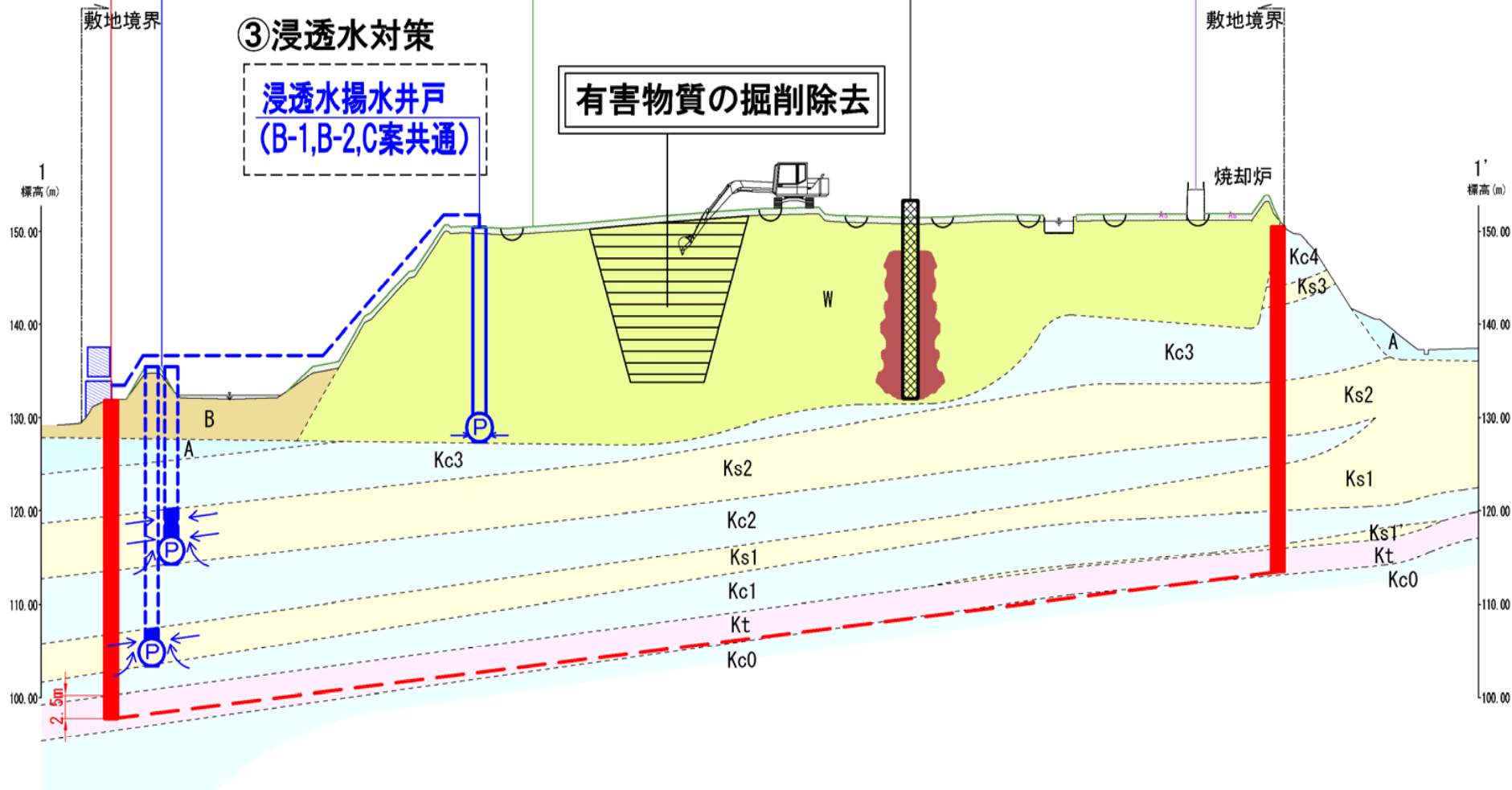
自然換気管(B-1案)

又は

強制換気管(B-2,C案)

⑤焼却灰対策

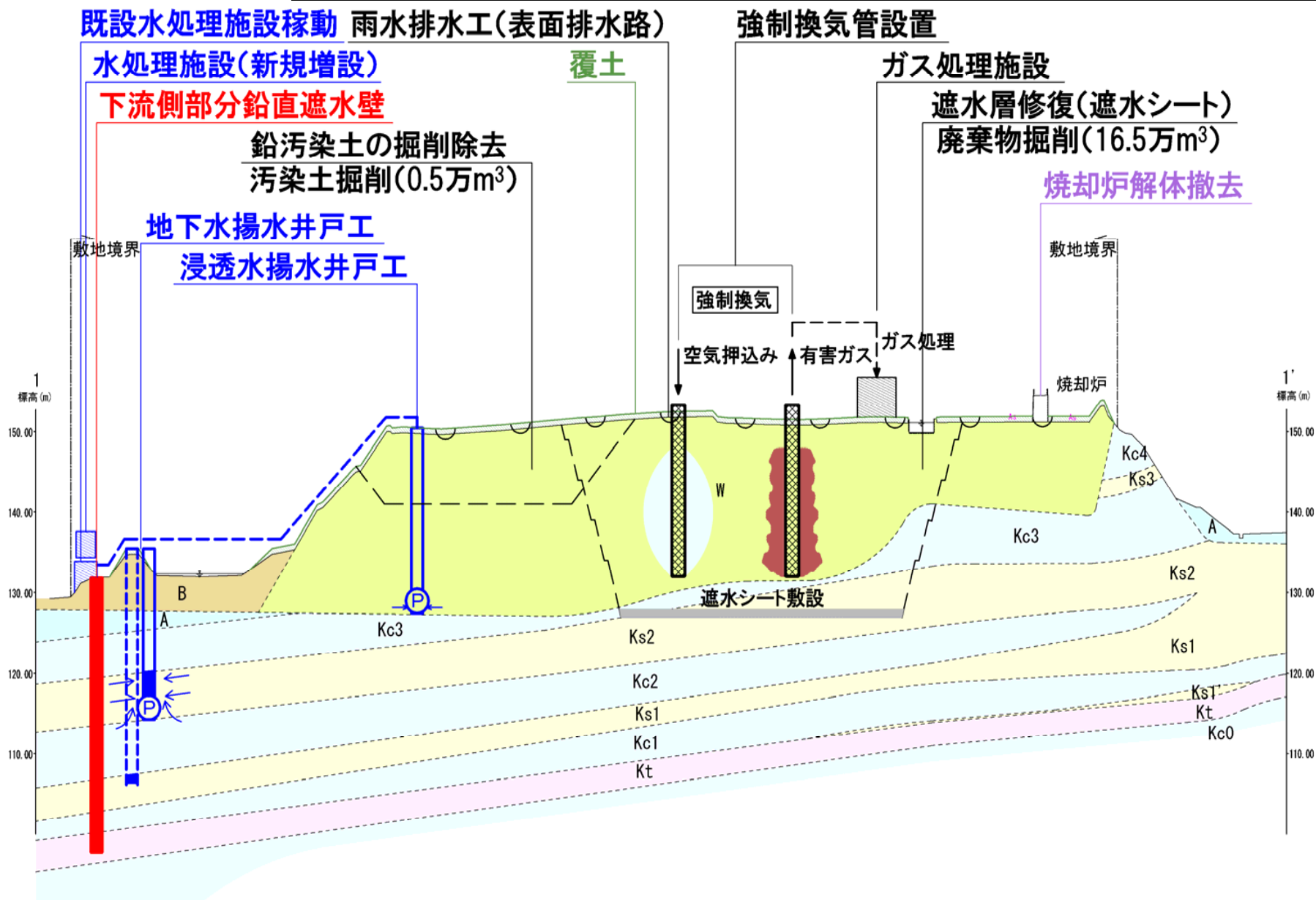
焼却灰洗浄除去
(B-1,B-2,C案共通)



E 案

工期 約4年

トータルコスト 約89億円(インシャル67億円、ランニング22億円(30年))



対策委員会報告をうけての 県の検討結果

対策委員会報告をうけての県の検討結果(1)

- 対策委員会でとりまとめられた「基本方針」にもとづき、県として実施すべき対策工を選定した結果、「B-1案をベースとしたD案」を基本に実施計画案を策定することとした。

対策委員会報告をうけての県の検討結果(2)

【各案の比較】

○ : 可 △ : 課題あり × : 不可

基本方針	A 2 案	D 案(B1)	D 案(B2)	E 案
住民同意				
効果的合理的経済的	×			×
代執行事業	×			×
対策工の構成				
周辺影響	×			×
緊急対策・恒久対策				
廃止基準のクリア			×	
実行性の確保、支援	×			×

県が基本とする対策工の概要

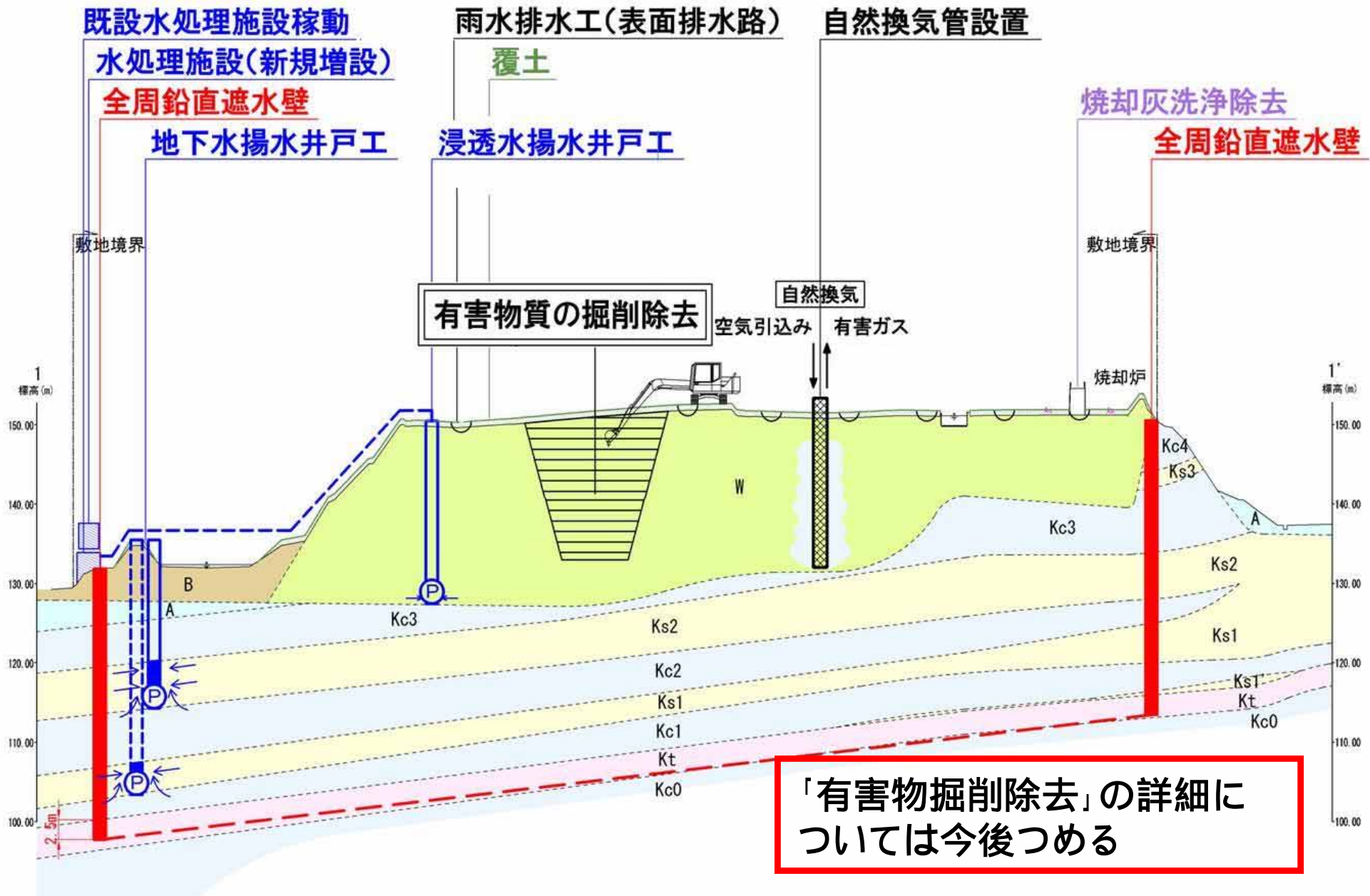
D案(B-1案ベース)

【原位置浄化 + 有害物掘削除去案】

工期 約3年+

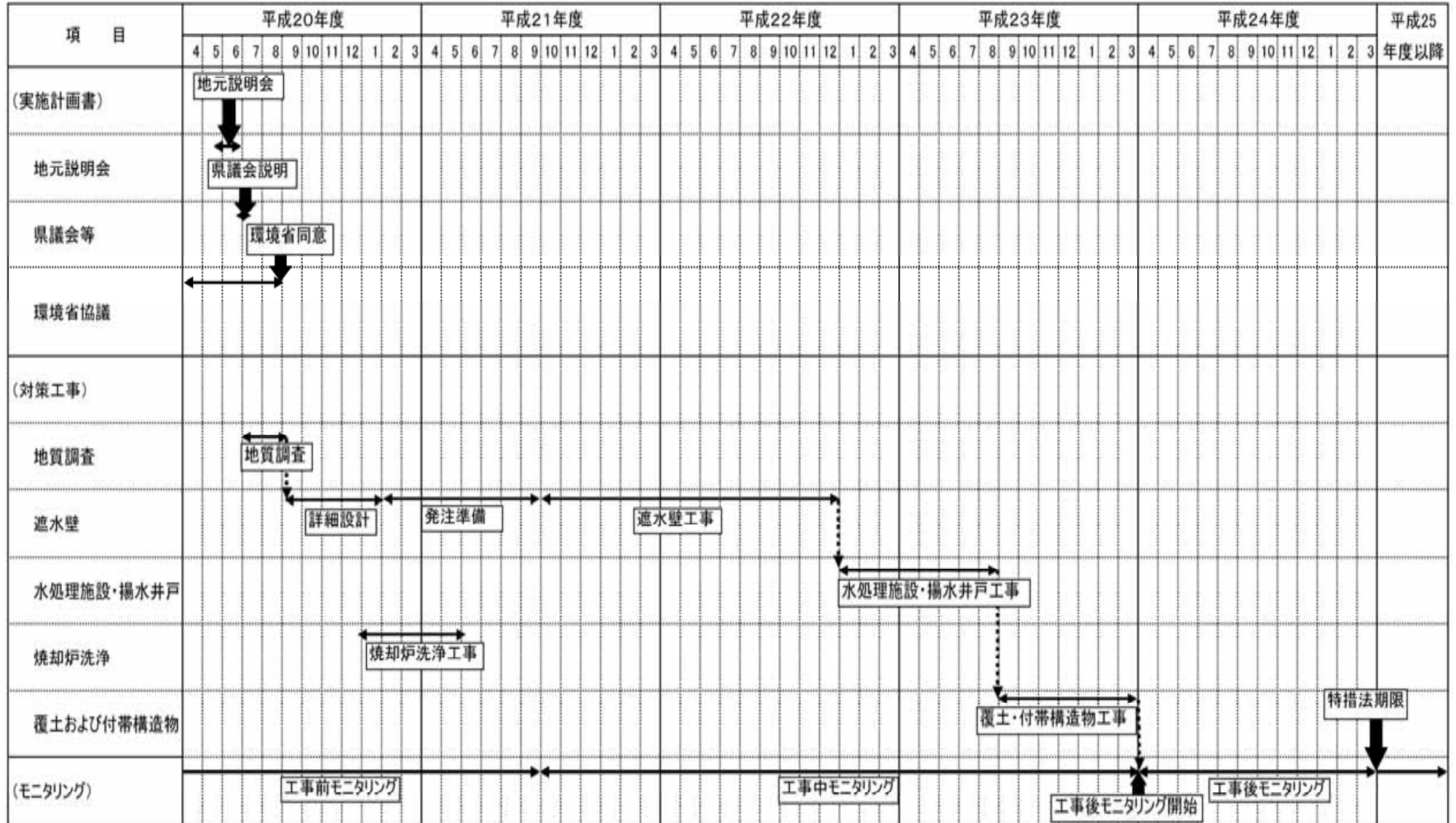
トータルコスト 約45億円+

(インシャル32億円+、ランニング13億円)



今後のスケジュール(案)

RD最終処分場対策工事全体概略スケジュール(案)



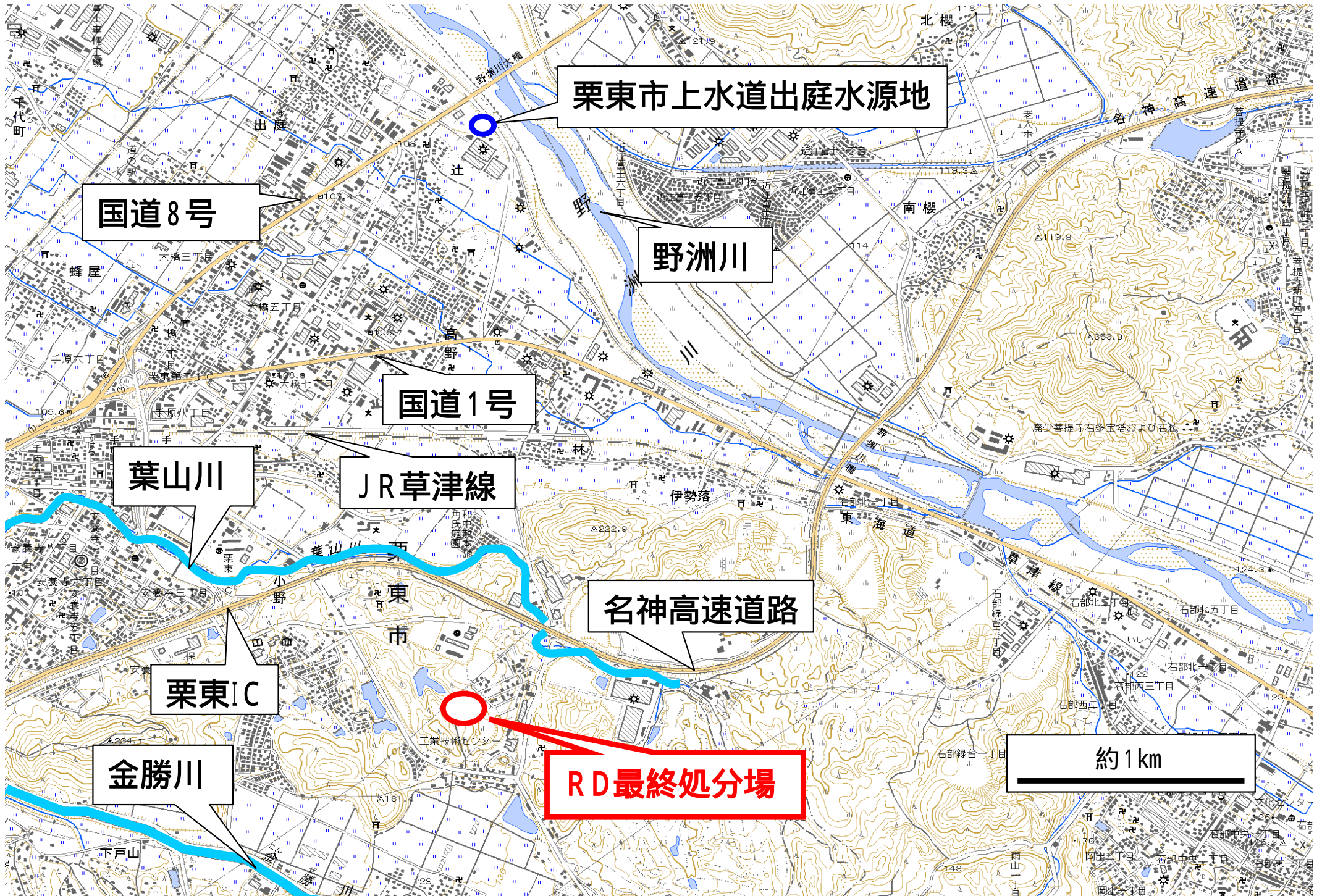
処分場の概況（平成15年9月9日撮影）



位置図



位置図



近隣自治会
(H13撮影)



小野

栗東ニューハイツ

赤坂

日吉ヶ丘

中浮気団地

上向

北尾団地

RD最終処分場